

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	長野県		市町村類型	I - 2		指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)																																																																																																																																																																																						
						財政健全化等	×	歳入総額	2,345,165	2,032,834	実質収支比率	4.6	17.3																																																																																																																																																																																								
市町村名	王滝村		地方交付税種地	2-1		財源超過	×	歳出総額	2,276,655	1,807,055	経常収支比率	63.9	77.2																																																																																																																																																																																								
						首都	×	歳入歳出差引	68,510	225,779	(※1)	(67.8)	(82.4)																																																																																																																																																																																								
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	552	17,407	標準財政規模	1,476,099	1,206,250																																																																																																																																																																																								
人口	22年国調(人)	965	産業構造(※5)		中部	○	実質収支	67,958	208,372	財政力指数	0.20	0.22																																																																																																																																																																																									
	17年国調(人)	1,097			過疎	○	単年度収支	-140,414	54,948	公債費負担比率	12.2	16.0																																																																																																																																																																																									
	増減率(%)	-12.0			山振	○	積立金	520,241	248,719	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																																																									
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	888	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	138,723	123,369	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																								
	うち日本人(人)	878		56	89	指数表選定	○	実質単年度収支	243,817	180,298	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																																								
	24.03.31(人)	901	第2次	11.6	17.0			基準財政収入額	228,503	233,059	実質公債費比率	9.6	11.5																																																																																																																																																																																								
	うち日本人(人)	901		76	72			基準財政需要額	1,328,198	1,062,799	将来負担比率	-	43.5																																																																																																																																																																																								
	増減率(%)	-1.4	第3次	15.7	13.7			標準税収入額等	288,276	293,581	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																																																																																								
	うち日本人(%)	-2.6		352	364			経常経費充当一般財源等	976,774	980,666																																																																																																																																																																																											
面積(km ²)	310.86		72.7	69.3			歳入一般財源等	2,022,246	1,679,675																																																																																																																																																																																												
人口密度(人/km ²)	3																																																																																																																																																																																																				
世帯数(世帯)	414																																																																																																																																																																																																				
職員の状況																																																																																																																																																																																																					
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	2,062,309	2,092,667																																																																																																																																																																																										
	市区町村長	1	5,302		一般職員	45	145,890	3,242	うち公的資金	1,315,618	1,391,702																																																																																																																																																																																										
	副市区町村長	1	5,039		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	-	-																																																																																																																																																																																										
	教育長	1	4,864		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																										
	議会議長	1	2,267		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	20,475	20,475																																																																																																																																																																																										
	議会副議長	1	1,555		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	1,073,000	691,482																																																																																																																																																																																										
	議会議員	4	1,327		合計	45	145,890	3,242	積立金現在高	371	371																																																																																																																																																																																										
						ラスバイレス指数(※6)		100.9	(93.1)	減債基金	29,854	28,700																																																																																																																																																																																									
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																																											
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計等の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(2) 特別会計国民健康保険(事業勘定)</td> <td></td> <td>(5) 公営企業観光施設事業会計</td> <td></td> <td>(6) 特別会計村営水道事業費</td> <td></td> <td>(11) 木曾広域連合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3) 特別会計国民健康保険診療施設費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7) 特別会計おんたけ高原簡易水道事業費</td> <td></td> <td>(12) (一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4) 特別会計後期高齢者医療費事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8) 特別会計農業集落排水事業費</td> <td></td> <td>(13) (一般会計(下水道))</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9) 特別会計簡易排水事業費</td> <td></td> <td>(14) (木曾察特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 特別会計宅地造成分譲事業費</td> <td></td> <td>(15) (介護保険特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) 長野県市町村自治振興組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17) 長野県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18) (一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(19) (後期高齢者医療事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(20) 長野県市町村総合事務組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																一般会計等の一覧	事業会計等の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)	(1) 一般会計		(2) 特別会計国民健康保険(事業勘定)		(5) 公営企業観光施設事業会計		(6) 特別会計村営水道事業費		(11) 木曾広域連合										(3) 特別会計国民健康保険診療施設費				(7) 特別会計おんたけ高原簡易水道事業費		(12) (一般会計)										(4) 特別会計後期高齢者医療費事業				(8) 特別会計農業集落排水事業費		(13) (一般会計(下水道))														(9) 特別会計簡易排水事業費		(14) (木曾察特別会計)														(10) 特別会計宅地造成分譲事業費		(15) (介護保険特別会計)																(16) 長野県市町村自治振興組合																(17) 長野県後期高齢者医療広域連合																(18) (一般会計)																(19) (後期高齢者医療事業会計)																(20) 長野県市町村総合事務組合						
一般会計等の一覧	事業会計等の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																																
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								(※3)																																																																																																																																																																																						
(1) 一般会計		(2) 特別会計国民健康保険(事業勘定)		(5) 公営企業観光施設事業会計		(6) 特別会計村営水道事業費		(11) 木曾広域連合																																																																																																																																																																																													
		(3) 特別会計国民健康保険診療施設費				(7) 特別会計おんたけ高原簡易水道事業費		(12) (一般会計)																																																																																																																																																																																													
		(4) 特別会計後期高齢者医療費事業				(8) 特別会計農業集落排水事業費		(13) (一般会計(下水道))																																																																																																																																																																																													
						(9) 特別会計簡易排水事業費		(14) (木曾察特別会計)																																																																																																																																																																																													
						(10) 特別会計宅地造成分譲事業費		(15) (介護保険特別会計)																																																																																																																																																																																													
								(16) 長野県市町村自治振興組合																																																																																																																																																																																													
								(17) 長野県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																																																													
								(18) (一般会計)																																																																																																																																																																																													
								(19) (後期高齢者医療事業会計)																																																																																																																																																																																													
								(20) 長野県市町村総合事務組合																																																																																																																																																																																													

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	248,667	10.6	248,667	17.3	普通税	247,924	99.7	38,405	
地方譲与税	40,494	1.7	40,494	2.8	法定普通税	247,924	99.7	38,405	
利子割交付金	189	0.0	189	0.0	市町村民税	37,879	15.2	1,158	
配当割交付金	125	0.0	125	0.0	個人均等割	1,656	0.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	28	0.0	28	0.0	所得割	29,539	11.9	-	
地方消費税交付金	11,163	0.5	11,163	0.8	法人均等割	6,497	2.6	1,127	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	187	0.1	31	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	205,770	82.7	37,247	
自動車取得税交付金	10,891	0.5	10,891	0.8	うち純固定資産税	171,985	69.2	37,247	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	2,006	0.8	-	
地方特例交付金	39	0.0	39	0.0	市町村たばこ税	2,269	0.9	-	
地方交付税	1,195,902	51.0	1,099,695	76.4	釧産税	-	-	-	
普通交付税	1,099,695	46.9	1,099,695	76.4	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	95,245	4.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	962	0.0	-	-	目的税	743	0.3	-	
(一般財源計)	1,507,498	64.3	1,411,291	98.0	法定目的税	743	0.3	-	
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	入湯税	743	0.3	-	
分担金・負担金	224	0.0	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	15,711	0.7	1,847	0.1	都市計画税	-	-	-	
手数料	622	0.0	37	0.0	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	40,738	1.7	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	81,084	3.5	-	-	合計	248,667	100.0	38,405	
財産収入	28,262	1.2	26,640	1.8					
寄附金	14,946	0.6	-	-					
繰入金	160,323	6.8	-	-					
繰越金	225,779	9.6	-	-					
諸収入	71,878	3.1	381	0.0					
地方債	198,100	8.4	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	88,100	3.8	-	-					
歳入合計	2,345,165	100.0	1,440,196	100.0					

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	359,583	実質収支	17,581
観光施設	286,191	再差引収支	17,581
下水道	14,529	加入世帯数(世帯)	152
宅地造成	20	被保険者数(人)	247
上水道	-	被保険者	65
国民健康保険	44,136	1人当り	113
その他	14,707	保険税(料)収入額	237
		国庫支出金	
		保険給付費	

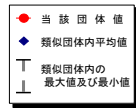
歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	27,738	1.2	-	27,738	
総務費	962,341	42.3	85,070	855,631	
民生費	195,143	8.6	23,573	127,580	
衛生費	102,709	4.5	-	76,662	
労働費	2,400	0.1	-	400	
農林水産業費	70,341	3.1	33,914	41,649	
商工費	359,799	15.8	9,298	330,791	
土木費	119,709	5.3	73,751	99,396	
消防費	68,934	3.0	4,095	56,194	
教育費	101,082	4.4	1,123	79,252	
災害復旧費	12,700	0.6	-	12,700	
公債費	253,759	11.1	-	245,743	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	2,276,655	100.0	230,824	1,953,736	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	675,143	29.7	638,106	637,253	41.7
人件費	375,598	16.5	372,480	371,627	24.3
うち職員給	243,213	10.7	240,534	-	-
扶助費	45,786	2.0	19,883	19,883	1.3
公債費	253,759	11.1	245,743	245,743	16.1
元利償還金	253,759	11.1	245,743	245,743	16.1
内訳	228,458	10.0	221,050	221,050	14.5
うち元金	25,301	1.1	24,693	24,693	1.6
うち利子	-	-	-	-	-
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	1,358,288	59.7	1,194,675	339,521	22.2
物件費	190,921	8.4	143,025	131,825	8.6
維持補修費	15,933	0.7	13,723	12,934	0.8
補助費等	497,297	21.8	469,923	157,148	10.3
うち一部事務組合負担金	104,894	4.6	95,594	88,203	5.8
繰出金	73,392	3.2	43,864	37,614	2.5
積立金	542,995	23.9	524,140	-	-
投資・出資金・貸付金	37,750	1.7	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	243,224	10.7	120,955	-	-
うち人件費	-	-	-	-	-
普通建設事業費	230,824	10.1	108,555	-	-
うち補助	100,442	4.4	14,512	-	-
うち単独	130,382	5.7	94,043	-	-
災害復旧事業費	12,400	0.5	12,400	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	2,276,655	100.0	1,953,736	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	888人 (H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	878人 (H25.3.31現在)	実質赤字率	-%
面積	310.86 km ²	実質公債費比率	9.6%
入総額	2,345,165千円	実質負担比率	-%
出総額	2,276,655千円	市町村類型	H20 I-2 H21 I-2 H22 I-2
実収	67,958千円	(年度毎)	H23 I-2 H24 I-2
標準財政規模	1,476,099千円		
地方債現在高	2,062,309千円		

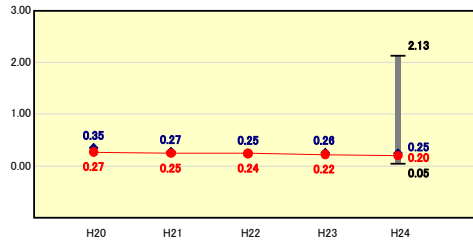


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含む、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 [0.20]

類似団体内順位 28/78 全国平均 0.49 長野県平均 0.38

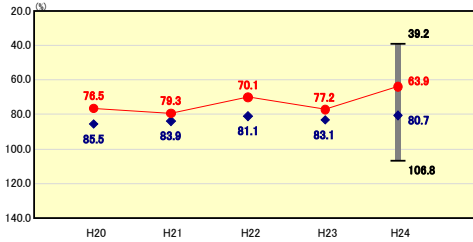


財政力指数の分析欄
 人口の減少や中心となる産業が少ないこと、景気の低迷による法人税割の減少などから財政基盤が弱く、財政力指数は年々減少し類似団体平均との乖離も広がってきている。定住対策に向けた村営住宅整備も進み人口減少を抑制するとともに、行政の効率化に努めることで活力あるむらづくりを展開する。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [63.9%]

類似団体内順位 7/78 全国平均 90.7 長野県平均 84.5

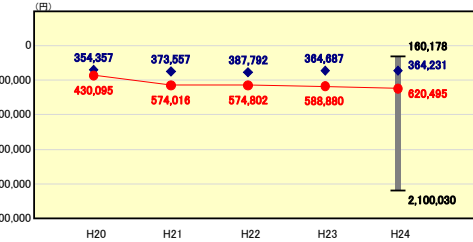


経常収支比率の分析欄
 交付税の増加などにより基金への積立が増えたことで経常経費は前年度より13.3%減少し弾力性のある財政運営が図られている。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [620,495円]

類似団体内順位 62/78 全国平均 116,454 長野県平均 124,829

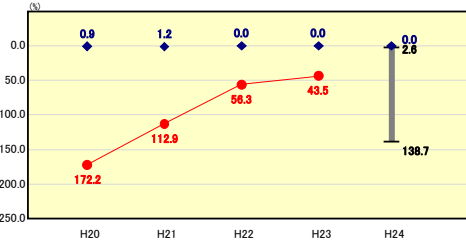


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 平成16年度までスキー場を直営で運営してきたため職員数が類似団体の平均と比較すると多いことから、人件費の総額も多い。今後、退職者が数名予定されるため適正な定員管理に取り組む。また、人口規模に比例しないシステム使用料などは人口一人当たり換算すると高くなってしまったため、類似団体の平均と乖離幅が広がらないよう抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/78 全国平均 60.0 長野県平均 21.0

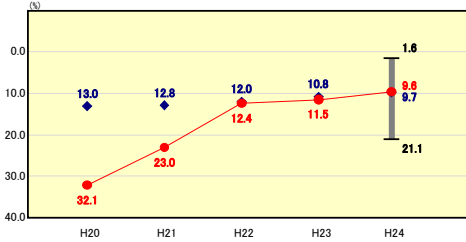


将来負担比率の分析欄
 公営企業会計(法適:観光施設事業)の債務を全額繰り上げ償還したことと、交付税の増加と共に財政調整基金の残高も増え、将来負担比率が算定されなくなった。今後は、繰上償還等の予定がないため、交付税が減少するとともに将来負担は増加することが予想される。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [9.6%]

類似団体内順位 41/78 全国平均 9.2 長野県平均 8.7

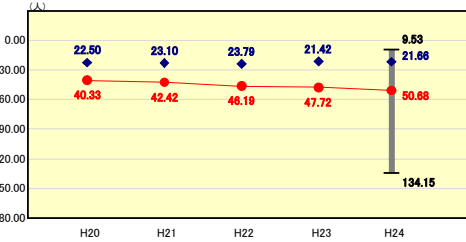


実質公債費比率の分析欄
 単年度償還額を超える新規借入は行っていないため、今後も減少の見込みであるが、ライフラインを含めた公共施設の老朽化や耐震のため、改築が必要とされる施設が多く、補助財源が無いことから過疎債等の借入が見込まれ、事業規模に応じて公債費負担が増加することが予想される。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [50.68人]

類似団体内順位 72/78 全国平均 7.00 長野県平均 7.78

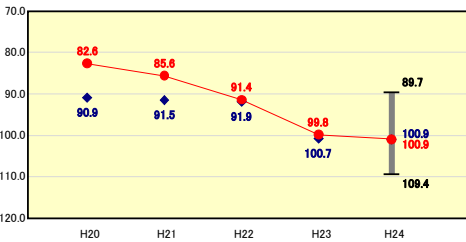


人口千人当たり職員数の分析欄
 平成16年度までスキー場を直営で運営してきたため、職員数は過去から多く類似団体平均と比較すると倍以上となっている。今後、退職者が見込まれるため、職員採用も図りつつ、適正な定員管理に取り組む。

給与水準(国との比較)

ラスパイレース指数 [100.9]

類似団体内順位 40/78 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



ラスパイレース指数の分析欄
 人件費は、給与削減を平成18年度25%、平成19、20年度20%、平成21年度10%、平成22年度4~6%と行ってきた経過があり、国家公務員の給与削減が行われた際にラスパイレース指数が下がっていたことと過去の削減から国家公務員と同程度の削減を行わなかったことから指数が100を超えた。国家公務員が通常ベースとなれば下がることが見込まれるため、類似団体と均衡が図れるよう維持をしていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

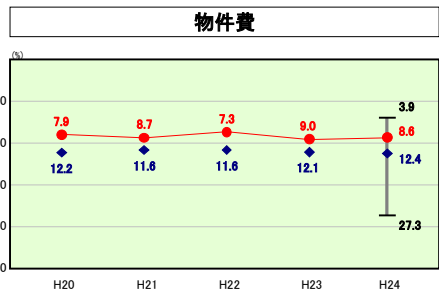
長野県王滝村

経常収支比率の分析

人口	888人(H25.3.31現在)	実収支比率	-%
うち日本人	878人(H25.3.31現在)	実収支赤字比率	-%
面積	310.86km ²	実公債費比率	9.6%
歳入総額	2,345,165千円	実未負担比率	-%
歳出総額	2,276,655千円	市町村類型	H20 I-2 H21 I-2 H22 I-2
実収支差	67,958千円	(年度毎)	H23 I-2 H24 I-2
標準財政規模	1,476,099千円		

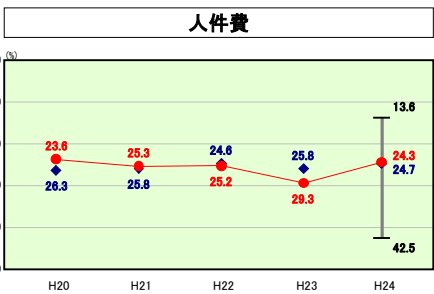
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



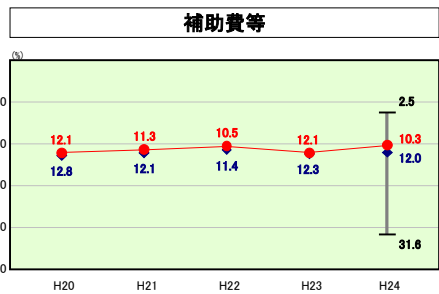
類似団体内順位 11/78 全国平均 13.3 長野県平均 12.3

物件費の分析欄
除雪作業などを直営で行っているため委託料などの物件費は類似団体の平均を下回り推移している。



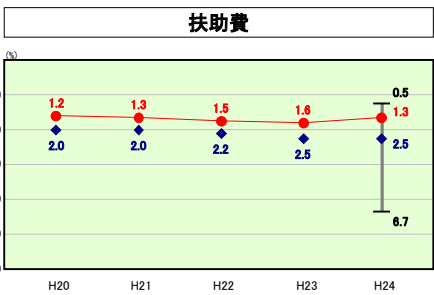
類似団体内順位 39/78 全国平均 24.8 長野県平均 21.0

人件費の分析欄
人件費の額は前年度と比較し変動は少ないが、普通交付税の増により人件費の占める割合が低下し、類似団体の平均に均衡となったものと考えられる。



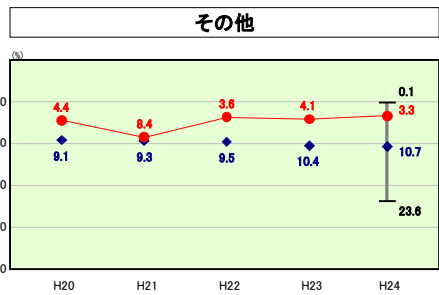
類似団体内順位 37/78 全国平均 10.1 長野県平均 13.3

補助費等の分析欄
補助費は類似団体の平均との均衡が図られているため、今後も現状を維持する。



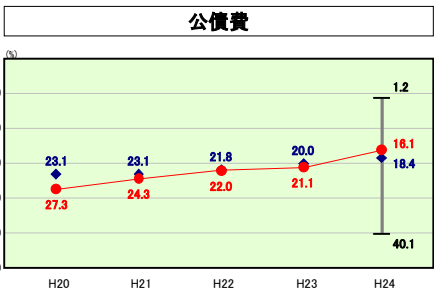
類似団体内順位 20/78 全国平均 11.2 長野県平均 7.2

扶助費の分析欄
扶助費は過年度から類似団体の平均を下回って推移している。現状を維持できるよう努める。



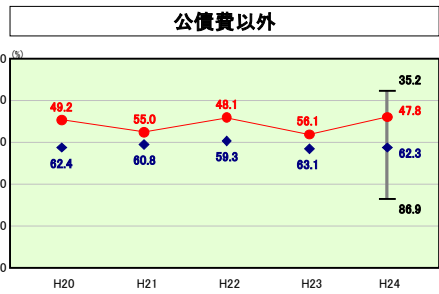
類似団体内順位 5/78 全国平均 12.5 長野県平均 13.0

その他の分析欄
繰出金は、国保診療施設事業会計への繰出金へ平成22年度から過疎債ソフト分を充当しているため、経常費用としては類似団体の平均を下回って推移している。しかし、簡易水道事業においてはこれまで独立採算で行ってきたが、修繕費や建設改良的な事業の増により、今後は赤字補てん的な繰出しが必然となる見込みである。



類似団体内順位 29/78 全国平均 18.8 長野県平均 17.7

公債費の分析欄
公債費の主な事業は臨時債と過疎債で8割を占めており、単年度の償還額以上に借入を行っていないため、年々減少してきている。本年度は、長野県振興資金を繰上償還した。今後も適正な管理に努める。



類似団体内順位 6/78 全国平均 71.9 長野県平均 66.8

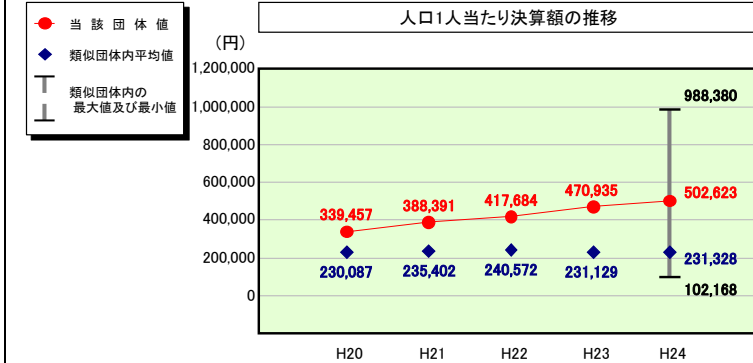
公債費以外の分析欄
維持補修費は修繕を行う施設により費用が変動するため、年度ごと計画的に行い現状を維持できるよう努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

長野県王滝村

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

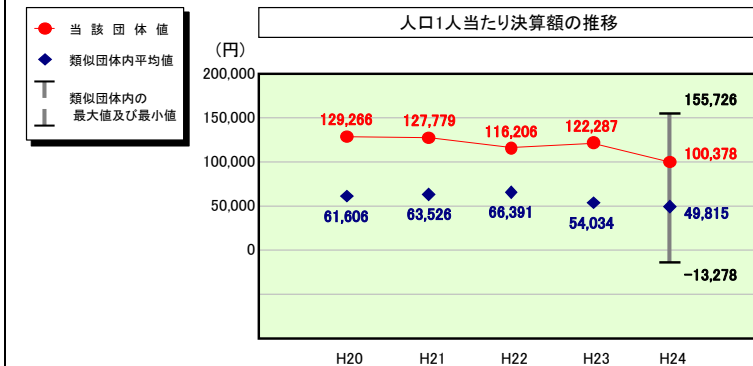
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	375,598	422,971	192,497	119.7
賃金(物件費)	20,907	23,544	20,601	14.3
一部事務組合負担金(補助費等)	49,761	56,037	23,853	134.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	2,772	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	31,515	35,490	8,684	308.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	-	-	3,541	-
▲退職金	▲31,452	▲35,419	▲20,621	71.8
合計	446,329	502,623	231,328	117.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	50.68	21.66	29.02
ラスパイレース指数	100.9	100.9	0.0

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

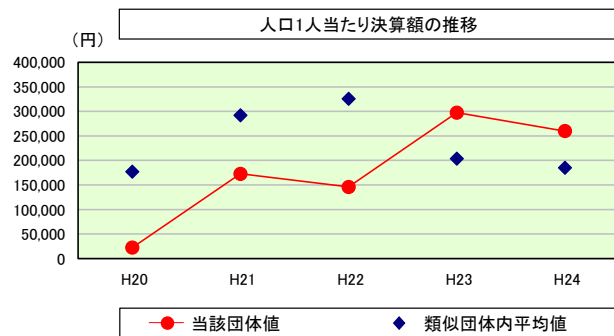


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	251,046	282,709	139,463	102.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	47,902	53,944	31,988	68.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	5,639	6,350	7,198	▲11.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,748	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	45	-
▲特定財源の額	▲8,016	▲9,027	▲9,275	▲2.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲207,435	▲233,598	▲121,391	92.4
合計	89,136	100,378	49,815	101.5

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

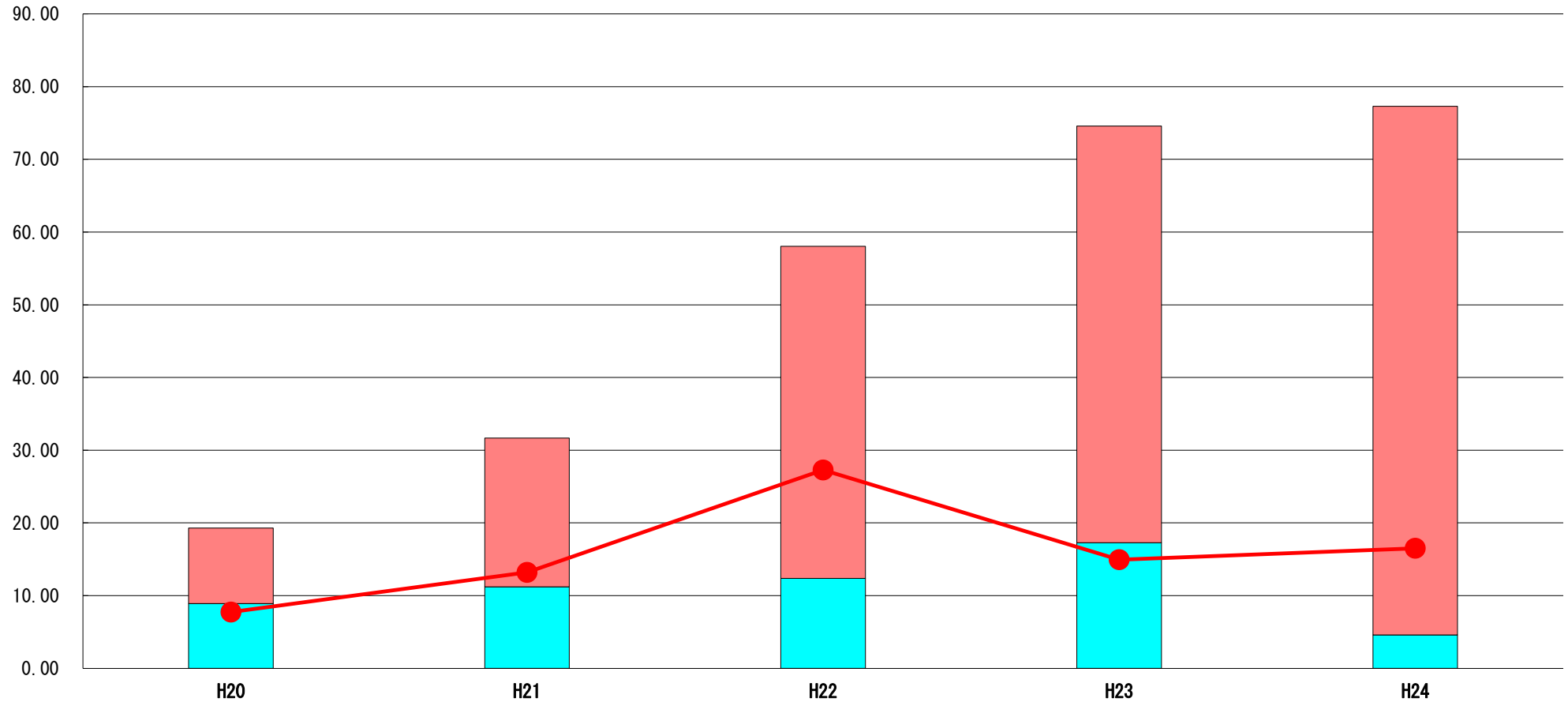
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	21,700	22,441	763.4	177,060	▲11.4	774.8
うち単独分	13,993	14,471	456.8	100,790	▲21.4	478.2
H21	162,733	172,569	669.0	291,917	64.9	604.1
うち単独分	153,462	162,738	1,024.6	163,714	62.4	962.2
H22	135,807	145,872	▲15.5	325,581	11.5	▲27.0
うち単独分	124,579	133,812	▲17.8	165,116	0.9	▲18.7
H23	267,867	297,300	103.8	203,567	▲37.5	141.3
うち単独分	127,722	141,756	5.9	121,137	▲26.6	32.5
H24	230,824	259,937	▲12.6	185,018	▲9.1	▲3.5
うち単独分	130,382	146,827	3.6	95,064	▲21.5	25.1
過去5年間平均	163,786	179,624	301.6	236,629	3.7	297.9
うち単独分	110,028	119,921	294.6	129,164	▲1.2	295.8

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成24年度

長野県王滝村

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		10.38	20.47	45.67	57.32	72.69
 実質収支額		8.91	11.20	12.38	17.27	4.60
 実質単年度収支		7.74	13.20	27.28	14.95	16.52

分析欄

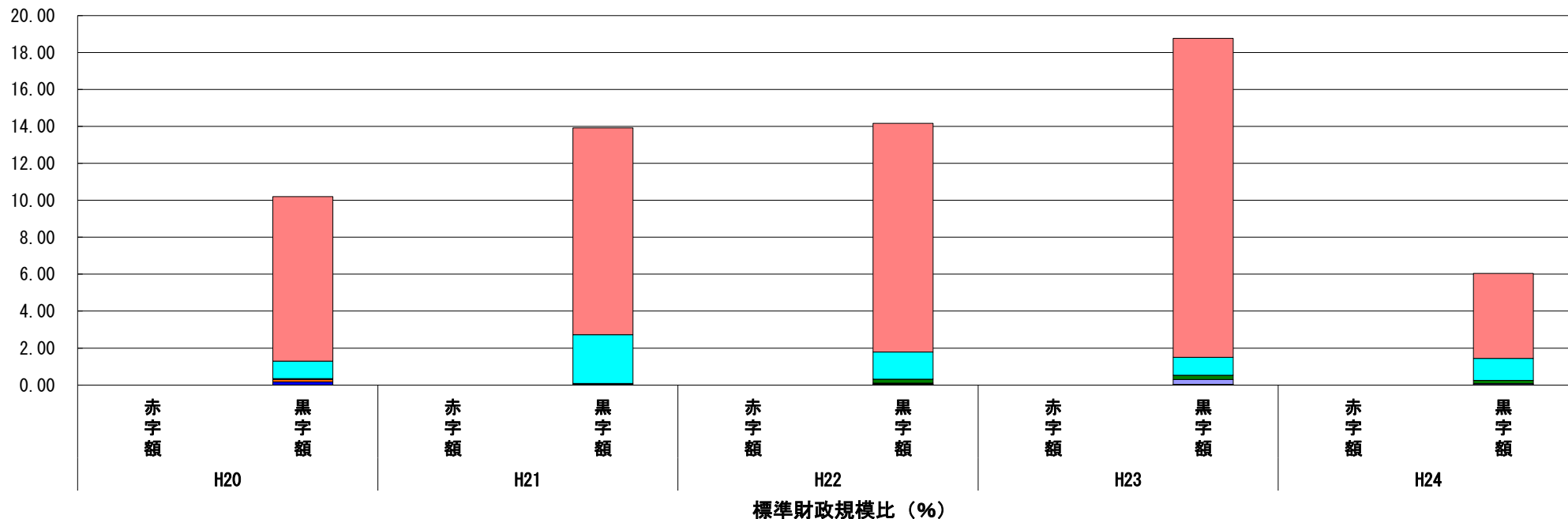
普通交付税の臨時費目の増より標準財政規模も大きくなり財政調整基金も平成14年度並みに回復してきた。長野県の町村の基金保有状況を考慮し財政運営的に標準財政規模の9割程度を確保する目標である。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

長野県王滝村

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
一般会計		8.91	11.20	12.38	17.27	4.60
特別会計国民健康保険（事業勘定）		0.94	2.63	1.47	0.97	1.19
特別会計宅地造成分譲事業費		0.00	0.00	0.22	0.23	0.17
公営企業観光施設事業会計		0.05	0.00	0.04	0.26	0.06
特別会計村営水道事業費		0.13	0.02	0.02	0.02	0.01
特別会計国民健康保険診療施設費		0.00	0.00	0.01	0.00	0.01
特別会計農業集落排水事業費		0.00	0.01	0.01	0.01	0.00
特別会計後期高齢者医療費事業		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.17	0.06	0.02	0.01	0.00

分析欄

近年資金不足となる会計はない。

村営水道事業会計は平成18年度以来独立採算で行ってきたが、平成23年度に一般会計から少額の繰出を行ったが、本年度は無かった。今後は修繕費や建設改良費的な工事の増加が見込まれ、繰出金も増加することが予想される。

公営企業観光施設事業会計は、平成23年度は緊急避難的措置として1年に限り直営でスキー場を運営したが、平成24年度から新しい指定管理者による運営が始まり、ゴンドラリフト等の整備費への補助金が皆増し、この会計が保有する債務を全額繰り上げ償還したことから繰出金も増加した。施設が老朽化しているため修繕費用が課題である。

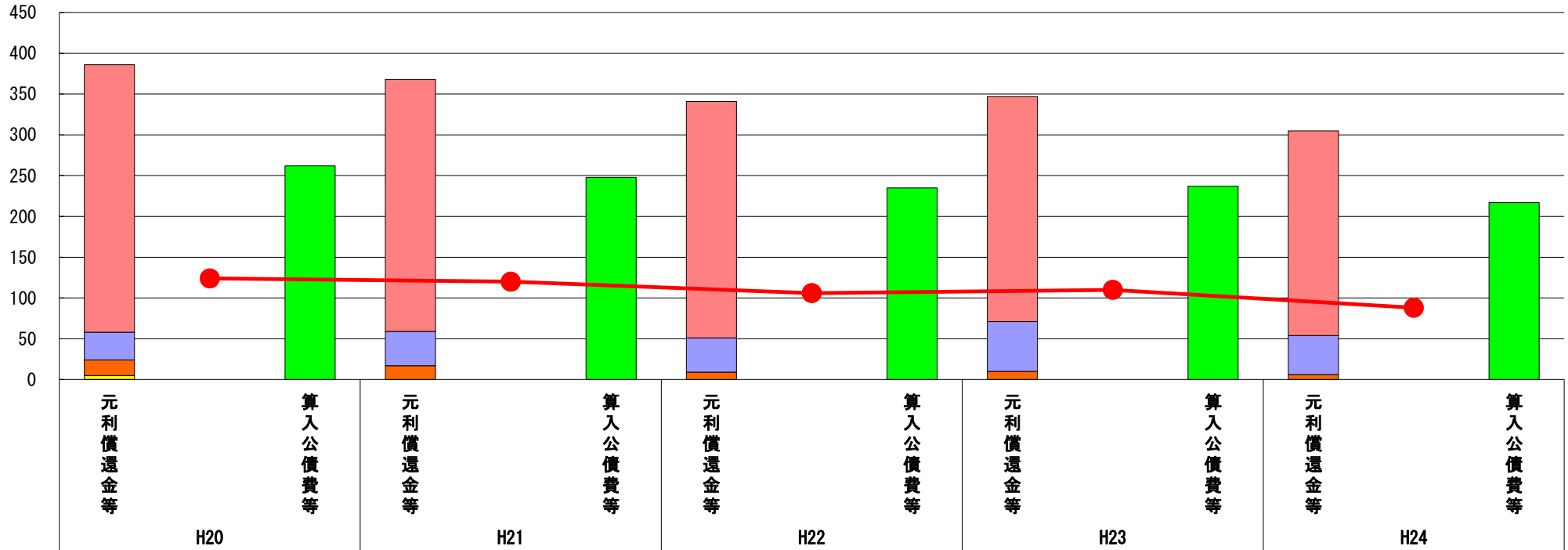
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

長野県王滝村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		328	309	290	276	251
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		34	42	42	61	48
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		19	17	9	10	6
	債務負担行為に基づく支出額		5	-	-	-	-
	一時借入金の利子		0	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		262	248	235	237	217
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		124	120	106	110	88

分析欄

実質公債費比率は単年度の償還額以上に借入を行っていないため、毎年減少しており今後も減少する見込みである。しかし、公共施設の老朽化が進み、大規模改修等が必要とされる時期となっており、補助財源等がないことから、過疎債などの起債を中心とする財源構成とならざるを得ないため、工事の実施有無に応じて単年度の償還額以上に借入を行うことが見込まれ、実質公債費比率が増加することが懸念される。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

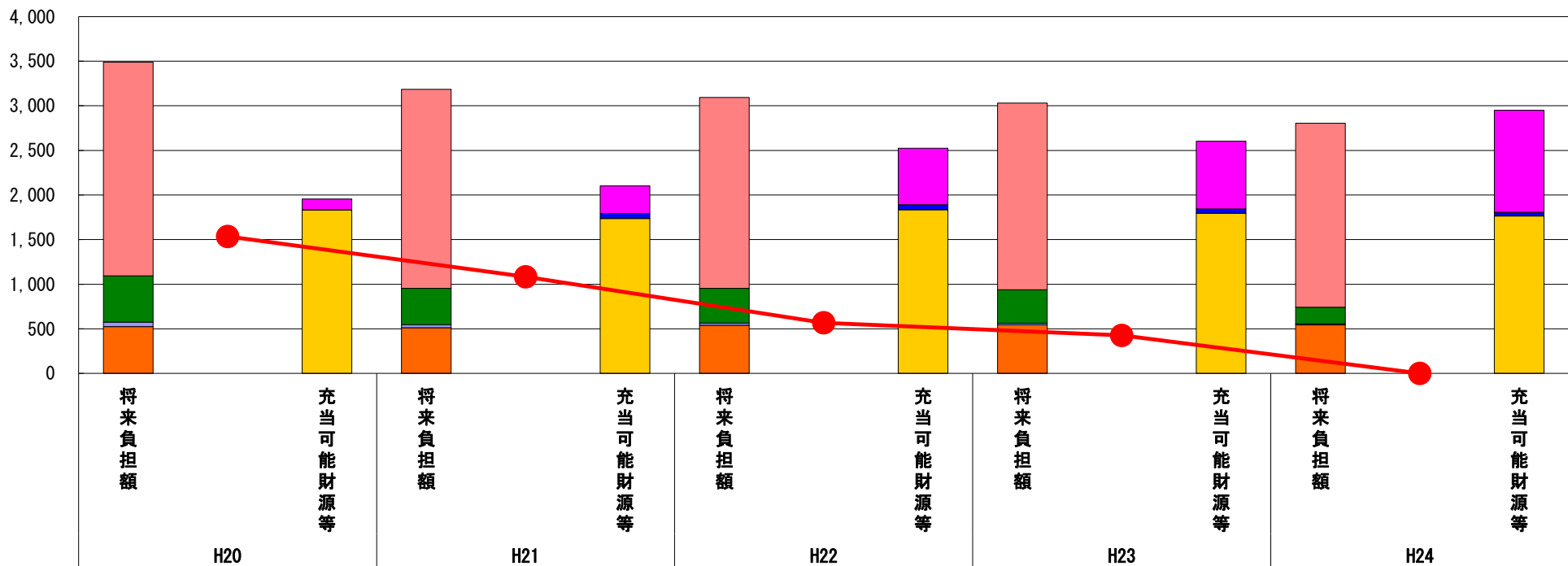
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

長野県王滝村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		2,397	2,230	2,139	2,093	2,062
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		517	409	390	374	186
	組合等負担等見込額		51	33	24	17	12
	退職手当負担見込額		525	512	540	546	544
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		120	310	633	760	1,144
	充当可能特定歳入		1	56	56	48	42
	基準財政需要額算入見込額		1,834	1,736	1,835	1,795	1,764
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,535	1,083	568	426	▲ 145

分析欄

公営企業観光施設事業会計の債務を全額繰上償還したこと、財政調整基金が増加したことで将来負担比率は算定されなくなった。類似団体の平均と均衡が図れるようになったため、現状を維持できるよう努める。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。